

個人情報に記載された精密検査結果報告書の誤送付について

このたび、当センターにおいて、患者の個人情報に記載された精密検査結果報告書を誤送付するという事案が発生しました。

このような事態を招きましたことをお詫び申し上げますとともに、再発防止に取り組んでまいります。

1 書類に記載されていた個人情報

患者氏名、患者生年月日、患者性別、患者住所、患者電話番号、患者検査結果

2 事案の経過

- ・患者Aの診察終了後、医師事務作業補助者は主治医より患者Aを紹介した医療機関Bに送付する報告書を受け取り、医療機関Bへの返信用封筒が入っていたクリアファイル（以下「ファイル」という。）に入れて保管した。
- ・患者Dの診察終了後、医師事務作業補助者は主治医より患者Dを紹介した行政機関Cに送付する報告書を受け取り、行政機関Cへの返信用封筒が入っていたファイルに入れて保管した。

令和7年10月2日（木）午後

- ・患者A及び患者Dの報告書の印刷をするためファイルから取り出し、印刷後、報告書をそれぞれの返信用封筒に封入して郵送した。

令和7年10月6日（月）

- ・行政機関Cより紹介していない患者Aの報告書が届いているとの架電がセンターの受付にあったことから事案が発覚。
- ・当該医師事務作業補助者が不在であったことから、他の医師事務作業補助者が翌日コールバックする旨をセンターの受付に伝え、夕刻、医師事務作業補助者のリーダーに事案を報告。

令和7年10月7日（火）

- ・医師事務作業補助者のリーダーが当該医師事務作業補助者に聴き取りを行い、封入時に報告書の宛名と返信用封筒の宛先の確認をせずに患者Aと患者Dの報告書を入れ違いで送付してしまったことを確認。

令和7年10月8日（水）午前

- ・医療機関Bに架電し、患者Dの報告書が届いたかの確認を行ったが、未着との返答。

令和7年10月8日（水）午後

- ・医療機関Bより地域医療連携室に患者Dの報告書が届いたとの連絡があり、医師事務作業補助者のリーダーにその旨が地域医療連携室より伝えられた。
- ・医師事務作業補助者のリーダーは上長である副院長に報告後、事務局へ報告。
- ・医師事務作業補助者のリーダーが医療機関B、行政機関Cへ謝罪し、報告書の原本の返送を依頼。

令和7年10月9日（木）

- ・事務局職員より患者A及び患者Dに対し、電話にて事情を説明し謝罪した。

3 誤交付の原因

- ・医師事務作業補助者が報告書を返信用封筒に封入する際に宛名及び宛先の確認を怠ったため。

4 再発防止策

○事案発生部署に対し、以下の点を指示するとともに、注意喚起を行った。

- ・報告書を返信用封筒に封入する際は、宛名や宛先に誤りがないか、複数人によるダブルチェックを行うことを徹底する。

以 上